



ななくに峠

【教育目標】 教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成

八王子市立七国中学校
令和7年11月12日
七國中だより

2年生移動教室（農村生活体験）

10月27日（月）から29日（水）の3日間、栃木県において農業体験（農村生活体験）が行われました。今年は3日間とも天候に恵まれ、159名の生徒38班（4～5名）が38の農家にわかれ、2泊3日の民泊を通して農村生活の体験をしました。宿泊する農家は栃木県大田原市、那須町、那珂川町、那須塩原町と4つの地域にまたがり、栽培している作物は農家によって様々で、米、レタス、キャベツ、ニンニク、落花生、唐辛子、サツマイモ、栗、サトイモ、ハーブ、オリーブなどです。季節柄、作物の収穫や出荷作業が主な体験となりました。

1日目、学校をバスで出発して栃木県の湯津上公民館へ。途中、東北自動車道の事故渋滞があった影響で約1時間遅れの到着。入村式では緊張した面持ちで受け入れ農家さんと初対面。入村式後は各農家さんと移動して昼食をとり、農村生活が始まりました。昨年同様、現地の方からは七国中生の整列や荷物の整理・整頓についてお褒めの言葉をいただきました。教員は二手に分かれて農家を訪問。生徒の様子や体験内容を視察しました。夜は満天の星空。星を観測しながら流れ星に願いをかけていた生徒もいたようです。

【農村生活体験実行委員長 入村式生徒代表挨拶】 2年3組 山岸 彩栄

農家の皆様、この度はお忙しい中、私たちの農村生活体験にご協力いただきありがとうございます。私たち一同は皆、この日を心待ちにしていました。私に農業に対する興味が湧いたのは、社会科の授業がきっかけです。私たちは、農業に携わっている方々の高齢化や耕作放棄地の発生といった課題を学びました。私は、「スーパーに行けば当たり前のように農産物が買えることは、当たり前ではないのだな。」と感じ、私たちの生活を支えてくださっている農家の方々に改めて感謝の思いを抱きました。本格的な農作物の経験などほばない私たちにとって、この3日間はとても有意義な学びになるはずです。また、農家の皆様と交流したり、家事や色々な作業を手伝ったり、家庭料理やその家で採れた食材を味わったりするなど。普段と大きく違う農村ならではの生活を体験させていただくことも貴重な経験になると思います。これから3日間、私たちは農業の手伝いや共同生活を通して、農業の大変さを知り、また、普段と違う文化を感じ、様々な学びを得ていきたいと思います。3日間、よろしくお願いいたします。

【校長の視察メモより ～抜粋～】

- 農家1・・・サトイモ農家。昼食（けんちんうどん）を終え、5人の男子生徒がサトイモ堀りに畑へ向かうところ。この後、即戦力としてしっかりと取り組んでいました。今年は暑さのためか不作とのこと。他にもオクラ、レタス、サツマイモ、ハクサイ、レタス、ナスなども栽培。サトイモ堀りの後は、これらの野菜の収穫作業をするそうです。
- 農家2・・・5人の女子生徒が出荷用の唐辛子を作業場にて整える作業中。とてつもない量の唐辛子が山積みになっていた。この作業はいつ終わるのだろうと思いながら、農家の方とコミュニケーションをとりながら楽しそうに作業をしていました。
- 農家3・・・女子生徒4人の班。訪問時は夕飯の支度のお手伝いをするところ。米、野菜など以外にもアガベの栽培やコーヒーの焙煎もしている。敷地内にはコーヒー豆の自動販売機も設置してあった。生徒たちは栽培してあるキウイフルーツに興味津々。満面の笑顔とともに写真をとりました。
- 農家4・・・5人の男子生徒がサツマイモ堀りを終えたところ。たくさんのサツマイモを袋詰めして軽トラックに積み込んでいた。力作業を終えた後の表情は、頑張った感、やりきった感で満ち溢れていました。今日の夕飯は何倍にもおいしく感じることでしょう。翌日は籾殻を処理する作業があるとのことでした。
- 農家5・・・ハーブを栽培している農家。夕食前の訪問。カフェも営んでおり、ハーブカフェにて4人の男子生徒がお出迎え。今日の作業の様子について説明を受けました。ペンション風の建物はとてもおしゃれで、ここで2泊するとのことでした。レモングラスティーとジェノベーゼ、生徒たちが収穫したサトイモを試食させていただきました。

農家の方が口をそろえて言っていたこと・・・七国中の生徒たちはみんなまじめでしっかりと取り組んでいた。挨拶もきちんとできて礼儀正しい。

⇒七国中生の行動指針「み・そ・あ・じ」を日頃から実践しているからこそ、学校外でも意識せずに行動に表れたのだと思います。

2日目は終日農作業体験。午前6時に起床、農家さんによって体験内容やスケジュールが異なります。夕食後に農家さんへのお礼の手紙を書き、午後9時に班会議を行って翌日の流れについて確認しました。この日も教員は二手に分かれて生徒の様子を視察。生徒たちの様子は Home&School にてパスワードを配信し、学校ホームページで確認できるようにしました。

3日目はいよいよ最終日。午前中の作業を終え、昼食後、公民館に集合して退村式を行いました。入村式の時の不安そうな面持ちから一変、笑顔を見せる生徒や農家の方との別れを惜しみ、涙をいっぱい浮かべている生徒など表情は様々でしたが、学びの深いそして心に残る思い出深い農村生活体験になったと思います。退村式を終え、バスが駐車場を出発するときには農家の方が集まって、手作りの横断幕を広げて見送りをしていただきました。農家の皆さんのやさしさやあたたかく思いやりのある対応がさらに涙を誘いました。栃木県を出発したバスは学校への帰路へ。生徒の皆さんは自宅に帰ったらどんな土産話をするのでしょうか。

今年の農村生活体験のスローガンは「礼農両道～感謝の気持ちで学びを収穫～」。生徒の皆さんはしっかりと実践していましたね。3日間お疲れさまでした。



第3回 小中一貫教育の日

10月15日（水）七国中学校にて、授業参観が行われました。七国小学校の教員が七国中学校の5校時の授業を参観するもので、参観後は各分科会に分かれ、授業参観の感想や小中9か年を見据えた授業の検討を行いました。次回、第4回の小中一貫の日に各分科会からの発表を予定しております。◇小中一貫教育推進（学校経営・交流）◇学力定着プロジェクトチーム（国語、算数・数学、外国語、社会、理科）◇GIGAスクール◇キャリア教育・地域資源・地域人材 ◇特別支援教育 ◇生活指導 ◇健康教育の11分科会です。



2年生体験型英語学習（国際理解教育）

10月16日（木）、①英語を使用する楽しさや必要性を体感し、「通じた」「わかった」という成功体験を英語学習の意欲向上につなげる。②世界中から来日した多様な文化と価値観をもつES（English Speaker＝E S）との交流により生徒の視野を広げ、グローバル社会に羽ばたくきっかけとする。ことを目標に、「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」（立川）にて、体験型英語学習が実施されました。E Sは生徒8名につき1名配置され、生徒たちは20の班に分かれて「エアポートゾーン」「ショッピングゾーン」「多文化理解」などの外国にいるかのような非日常的な空間で、英語を話す楽しさやその必要性を体感しました。英語しか使えない空間の中でセッションを経験し、英語コミュニケーション能力向上に向けて意欲的に取り組んでいました。



地域行事・いも煮会

10月19日（日）午後より宇津貫公園にて、七国六丁目町会主催の「いも煮会」が開催されました。時折、ポツリポツリと雨が降る天候となりましたが、町会員の親睦と地域友好イベントとして多くの方の参加がありました。いも煮の他にも非常用アルファ化米の炊き出しも用意され、飲食を共にしながらコミュニケーションを図る有意義な時間となりました。開催にあたりまして計画や準備等をしてくださいました町会の皆様、ありがとうございました。



生徒総会

10月22日（水）4校時、体育館にて生徒総会が行われました。生徒会本部、各委員会からスローガンや後期の活動内容が発表され、各学級で討議された質問にもしっかりと答えていました。生徒のみなさん一人一人が、七国中での学校生活をもっと充実させ、楽しい学校生活を送るために生徒会活動をどのように改善したら良いのかを考え、意識するための活気ある総会となりました。



生徒会本部、各委員会の委員長をはじめ、準備・運営にかかわった生徒のみなさんお疲れさまでした。また、議長団のみなさん、スムーズな司会進行ありがとうございました。

【校長講評より～抜粋～】

生徒総会お疲れさまでした。生徒会役員、各委員会の委員長をはじめ、準備・運営にかかわった生徒のみなさん本当にご苦労様でした。また、議長団のみなさん、スムーズな進行ありがとうございました。講評ということですが、私から2つ感じたこと、思ったことを話します。

1つ目は、学校生活をより良くするために、各クラスで討議を重ね、生徒会、委員長に質問をし、それに対して活動内容や方針を、生徒全員が知ることができた、共有することができたことは、これからの七国中をみんなでつくっていく上で、とても有意義なことだと思います。

2つ目は、生徒のみなさんが1人1人、生徒会の会員であること。生徒会は文字通り生徒の会ですから、みなさん1人1人が主役。生徒会本部役員が何かしてくれるだろうとか、委員長に任せておけば良いとかではなく、みなさん1人1人が、七国中での学校生活を、もっと充実させるために、楽しい学校生活を送るために、生徒会活動をどのように改善したら良いのかを考え、行動に移すことが大切です。

今日の生徒総会で、今後の活動の方向性が示されました。これから、みなさん1人1人がどう振舞い、どう七国中がよくなっていくのか楽しみしています。

3年生「命の授業」を終えて

10月28日（火）3・4時間目、3年生は「命の授業」を実施しました。この授業は、自分の命と他者の命の大切さ・命を受け継いでいくことについて考え、自分の未来をより良いものにするための態度・心構えを身に付けることを目的に行われました。当日は、「妊婦体験」（約7～8kgの重りの入ったジャケットを着用し、日常動作を行う）や「赤ちゃん人形の抱っこ」（約3kgの人形を実際にだっこする）といった体験活動を行いました。また、助産師さんのご講話や乳児を連れたお母様方との交流の時間もとることができ、多感な時期にある生徒たちが、「生と性」、「命のかたち」などについて深く考える貴重な機会となりました。お忙しい中、ご講話くださった助産師のみなさん、そして大切な乳児を連れて生徒たちと交流してくださったお母様方に、心より感謝申し上げます。

以下に生徒の感想の一部を載せます。

◎ 命というのがどれだけ大切であり、何人もの大変な思いをして生まれているのかというのがわかり、もっと自分の命を大切にしていきたいなと思ったし、ここまで育ててくれた親に感謝の気持ちでいっぱいです。

◎ 妊婦体験や赤ちゃん人形とのふれあいを通して、命の誕生がいかに尊いものかを学びました。初めて妊婦ジャケットを着た時、その重さに歩くことすら大変で、日常生活を送る母親の苦労を想像しました。

◎ 命はもともと「大切なもの」という印象はあったけど今回の体験を通して、身近に新たな命があることを実感してより命というものの重要さを感じた。



はちビバまつり こどもシティ

11月2日(日)の午後、宇津貫公園にて『はちビバまつりこどもシティ』が開催されました。この日は、宇津貫公園が1日だけのこどものための町『こどもシティ』となり、ハッチ券(架空のお金)を使ってゲームや工作などのお店で遊ぶことができる内容です。運営ボランティアとして、七国中の生徒会本部役員3名が参加し、多くの地域の児童、生徒たちと楽しく過ごす良い機会となりました。



管理職による面接講話

11月10日(月)1時間目、体育館にて3年生を対象とした管理職による面接講話を実施しました。この講話は高校入試に向けて、校長先生が面接官、教員を受験生とみなした実践形式で行い、面接で心掛けるべき身だしなみや礼儀、質問に対する答え方のポイントなどを学ぶ内容です。生徒たちは普段意識しないようなマナーや、自分たちが見られる細かい部分に驚きながらも、数か月後に行われる入試面接を想定し、真剣に聞く姿が見られました。12月1日(月)から行われる管理職による模擬面接に向けての有意義な時間となりました。



あいさつ運動(小中交流活動)

10月21日(火)から8時5分～8時15分の間、各専門委員会と生徒会が協力をしてあいさつ運動を実施しています。あいさつ運動には交流活動として七国小学校の児童も参加し、「あいさつする人をさらに増やす」「学校全体の仲を深める」を目的に、正門、西門、ピロティーの3か所に分かれて「おはようございます」の大きな声が校内に響き渡っていました。七国小学校の児童のみなさん、朝早くからご協力ありがとうございました。このあいさつ運動は11月21日(金)まで実施する予定になっています。



七国中生の頑張り

11月までに行われた大会等の結果です。[敬称略]

◆ バドミントン部

【令和7年度 八王子市中学生バドミントン新人大会】(10/20)
女子シングルス 第5位 山田 麻友
女子ダブルス 第3位 藤田・久田ペア

◆ 卓球部

【令和7年度 多摩地区中学校秋季卓球大会】
(11/2)
男子団体 第3位

◆ 陸上競技部

【令和7年度 八王子市中学校駅伝競走大会】(11/2)
男子の部 第28位
女子の部 第4位 区間賞 第4区 梅原 美優



□ 拠点校部活動

◆ 剣道部

【令和7年度 八王子市中学校秋季剣道大会】(9/20)
団体戦 優勝(石垣 翔子、船戸 維月) 個人戦 第3位 石垣 翔子